



	<p>医療法人聖真会 横山記念病院 横山 正</p> <p>独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター 勝島 慎二</p> <p>医療法人 小畑内科クリニック 小畑 寛純</p> <p>大阪市立大学医学部附属病院 根引 浩子</p> <p>社会医療法人若弘会若草第一病院 北野 厚生</p> <p>医療法人 真世会 佐井胃腸科・肛門科 佐井 壮謙</p> <p>医療法人社団 青山内科クリニック 青山 伸郎</p> <p>広島大学病院 田中 信治</p> <p>県立広島病院 渡邊 千之</p> <p>福岡大学病院 竹田津 英稔</p> <p>福岡大学筑紫病院 岸 昌廣</p> <p>佐賀大学医学部附属病院 坂田 資尚</p> <p>医療法人 潤愛会 鯨島病院 鯨島 由規則</p>
研究の意義、目的	<p>潰瘍性大腸炎は、再燃と寛解を繰り返す原因不明の非特異性炎症性腸疾患であり、特定疾患の一つに指定されています。本疾患の根治療法は未だ確立されておらず、治療方針は活動期には速やかに症状を抑え寛解導入し、寛解導入後はできるだけ長期に寛解維持を図り、生活の質を高めることが基本となります。</p> <p>以前に参加をいただきました治験薬のような局所製剤による寛解導入治療後の寛解維持期間については過去に報告がありません。そのため、本研究において寛解維持期間の検討することの臨床的価値は高いと考えられます。</p> <p>今回の研究の目的は、AJG511 を使用してその治療の目標（粘膜寛解）が達成できた場合の、再燃までの期間にはどのような影響があるかを検討することです。</p>
研究の方法	<p>本研究は、治験薬投与終了後 2 年間における、すでに行われた治療の情報を収集させていただきます。</p>
その他	<p>当研究は、EA ファーマ株式会社、およびキッセイ薬品工業株式会社より受託研究費が支払われますが、本研究の利害関係については旭川医科大学利益相反審査委員会の審査と了承を得ています。また、本研究の経過を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、研究者と企業との利害関係について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

旭川医科大学病院 第三内科 藤谷 幹浩

電話：0166-68-2462（代表） FAX：0166-68-2469

研究責任者：

旭川医科大学病院 第三内科 藤谷 幹浩

研究代表者：

慶應義塾大学病院 消化器内科 長沼 誠